

リチウムイオン電池パック「BPL シリーズ」



本体機器設計上のご注意

■標準電池パックには過放電防止機能を備えており、放電によって電圧が一定の値まで下がると、放電を停止します。ただし、電池容量が残っていても大きな負荷が発生した場合は、電池パックの電圧が低下し、過放電防止機能が作動するため、使用する機器の負荷電流など、使用条件に適した電池パックをお選びください。

■お客様との打ち合わせなどにより仕様を決めたカスタム開発や、新規開発も行っています。(別途数量条件などあり)

安全確保のための電池取扱い上の禁止事項

 警告、 注意の意味について

 警告	使用者が死亡、または重傷を負う可能性がある内容です。
 注意	使用者が軽傷を負うことや、財産の損害が発生する可能性がある内容です。

警告

■充電は必ず専用の充電器を使用してください。専用品以外のご使用は発熱、破裂、発火の原因となり、傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。

■直流電源やエンジン発電機などで充電しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。

■火気や暖房器具の近く、炎天下に駐車している車の中などで充電しないでください。発熱、破裂、発火のおそれがあります。

■濡れた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

■電池パックを雨中で使用したり、湿った場所や濡れた場所で使用したりしないでください。感電や発煙のおそれがあります。

■電池パックを火中に投入したり、加熱したりしないでください。破裂、発火の原因となったり、有害物質が出たりするおそれがあります。

■電池パックの端子間を短絡させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり保管したりしないでください。短絡（ショート）して、発煙、発火、破裂などのおそれがあります。

■電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。強い衝撃を与えると、発熱、火災、感電などのおそれがあります。

■電池パックを火気や暖房器具の近くなど、高温になる場所（50℃以上）で、使用したり放置したりしないでください。発熱、破裂、発火のおそれがあります。

- 外郭ケースが破損した場合は使用しないでください。破損したケースによる怪我や感電などのおそれがあります。
- 分解、改造をしないでください。発熱、発火、感電など、怪我や事故の原因となります。
- 電子レンジや高圧器に入れないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。

注意

- 電池パックを、直射日光の強いところや、炎天下に駐車している車の中など、高い温度になるところで使用したり放置したりしないでください。漏液の原因となります。
- 電池パックを、使用しない場合は機器から取り外して高温多湿を避けて保管してください。

長期保管時の取扱い

- 電池を使用後、長期間使用しない場合は必ず充電をしてから保管してください。
- 電池パックを長期保管する場合は、最後の充電から1年以内に専用充電器にて補充電をしてください。
- 保管は湿気の少ないところで行ってください。

電池パックの使用・保存温度範囲

- 電池の使用温度範囲は次の通りです。

充電	0℃～40℃
放電	-10℃～+50℃
保存	-20℃～+30℃（1年以内／出荷時の充電状態）

※一時的に保管温度が+30℃～+50℃になるのは可としますが、保存温度が高温になるほど、電池パックの劣化を促進し、容量の低下につながります。できるだけ低い温度での保管を推奨します。

使用済み電池パックの取扱いについて

- リチウムイオン電池パックはリサイクル可能です。ご不要になった電池パックは、端子が短絡（ショート）しないように端子部分にテープなどを貼って塞ぐか、ポリ袋などに入れ、最寄りの充電式電池リサイクル協力店に持ち込んでください。



当社は一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。
使用済みの充電式電池のリサイクルにご協力ください。
ホームページ (<http://www.jbrc.com/>)

詳しくは WEB サイトへ
<https://biz.maxell.com/ja/batteries/>
リチウムイオン電池パック（充電器）

